東国分爽風学園
第9回 義務教育学校の設置に関する検討会
別冊資料

資料1：プロジェクト会議だより②から⑤

資料2：令和3年度 東国分爽風学園ランドデザイン

資料3：国分高校の生徒による学習支援に関するアンケート結果

令和3年6月

東国分爽風学園 プロジェクト会議だより ②

- 1 日 時 令和3年6月11日（金） 9時30分～10時40分
- 2 会 場 市川市立曾谷小学校
- 3 参加者 ・各学校（東国分中・曾谷小・稲越小）の校長・教頭・教務主任
（12名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）協議：東国分爽風学園のグランドデザインについて
（2）協議：後期から実施できる内容について
- 5 協議の概要

【前回の振り返り】

第1回のプロジェクト会議では、グランドデザインの柱を①学力、②生徒指導、③協働授業、④小小連携、⑤働き方改革、⑥小中の交流、⑦特別支援体制、⑧地域・学校運営協議会の8項目とし、内容を第2回（今回）で整理することとしました。

（1）東国分爽風学園のグランドデザインについて

【グランドデザインにおける柱の位置づけについて】

○昨年度策定した「東国分中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」の中で、「学園教育目標」、「めざす児童生徒像」、「めざす教職員像」、「めざす学園像」を整理した。これらに紐づく「重点」として、柱は位置づけられると考えている。

○グランドデザインは、公開するものなので、これらの位置づけを、保護者や地域の方々に分かりやすい形にする必要がある。

【柱の内容について】

○柱としては、前回8項目が出たが、「①学力」「②生徒指導」「③特別支援」「④・⑥連携（交流も含む）」については特に大切だと思う。その他の項目は、その中の取組みで網羅していきたい。

○その中でも「④・⑥連携」は重要。どのような連携ができるか、塩浜学園の実践を参考とすることも大事だと思う。

○実際、塩浜学園の授業の見学や、先生方に話を聞きたい。

（2）後期から実施できる内容について

【後期から実施することが想定される取組みについて】

○後期より前だが、夏休み直前に生徒指導として、「夏休みの過ごし方」に注意を払うための取組みを、3校共通で実施したい。

○3校での授業の交流については、ブロック内の異校種交流をきっかけとして、具体的な取組みを検討したい。

○部活動については、例えば、放課後週1回くらい参加するなど、何か体験できる形ができないか検討したい。

6 次回の予定

（1）開催予定：令和3年6月下旬

（2）協議事項

① グランドデザインについて（継続）

② 後期から実施できる内容について（継続）

③ 「新しい教科」について

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

東国分爽風学園 プロジェクト会議だより ③

- 1 日 時 令和3年6月30日（水） 9時30分～10時40分
- 2 会 場 市川市立稲越小学校
- 3 参加者 ・各学校（東国分中・曾谷小・稲越小）の校長・教頭・教務主任
（12名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）報告 : 塩浜学園視察報告
（2）協議 : 東国分爽風学園のグランドデザインについて
（3）協議 : 後期から実施できる内容について
（4）協議 : 教育課程について

5 会議内容の概要

【前回の振り返り】

- ・東国分爽風学園グランドデザインの「学園目標」「めざす児童生徒像」「めざす教職員像」「めざす学園像」や柱になる重点項目の内容について検討しました。
- ・後期から実施できる取り組みとして、後期前に3校共通の「夏休みの過ごし方」について、各学校をオンラインでつないで内容を共有することについて検討しました。

（1）塩浜学園視察報告について

○義務教育学校「塩浜学園」に3校の教頭と教務主任で視察をしました。校舎見学の他、塩浜学園のグランドデザインや特別な教科である「塩浜ふるさと防災科」の年間指導計画などを塩浜学園の校長と教務主任から紹介してもらいました。

（2）東国分爽風学園のグランドデザインについて

- グランドデザインの「学園目標」「めざす児童生徒像」「めざす教職員像」「めざす学園像」の内容の整理を行いました。
- 4つの重点項目（学力向上・生徒指導・特別支援・連携）について検討しました。

（3）後期から実施できる内容について

- 7月20日（火）に3校をオンラインでつなぎ、各校の生徒指導担当の先生が児童生徒に「夏休みの過ごし方」を話すことになりました。
- 小学生の部活動の参加について検討しました。実施するための引率職員の必要性や、万一、事故が生じた場合の保険適用についてなど、課題について協議しました。

（4）教育課程について

○新しい教科について、意見交換しました。先日実施した児童生徒のアンケート結果や稲越小がユネスコスクールであることから、その知見を踏まえて「SDGs」に関連した内容を検討することになりました。次回3校の年間指導計画を持ち寄り、SDGsの項目にあてはまる授業について確認することになりました。

6 次回の予定

- （1）開催予定：令和3年7月14日（水）
- （2）協議事項
 - ① グランドデザインについて（継続）
 - ② 後期から実施できる内容について（継続）
 - ③ 教育課程について（継続）

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

東国分爽風学園 プロジェクト会議だより ④

- 1 日 時 令和3年7月14日（水） 9時30分～10時40分
- 2 会 場 市川市立東国分中学校
- 3 参 加 者 ・オブザーバー：大学教授
(13名) ・各学校（東国分中・曾谷小・稲越小）の校長・教頭・教務主任
・教育委員会（学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 (1) 協議 : 東国分爽風学園のグランドデザインについて
(2) 協議 : 後期から実施できる内容について
(3) 協議 : 教育課程について

5 会議内容の概要

【前回の振り返り】

- ・東国分爽風学園グランドデザインの「学園目標」「めざす児童生徒像」「めざす教職員像」「めざす学園像」や柱になる重点項目の内容について整理しました。
- ・7月20日（火）に3校共通の「夏休みの過ごし方」について、各学校をオンラインでつないで話すことになりました。

(1) 東国分爽風学園のグランドデザインについて

- オブザーバーより、グランドデザインには、2つの視点（学校の視点・市川市教育委員会としての視点）があること。また、文部科学省の指針や方針で小中一貫教育を行うにあたって3つのこと（「教科の先取り」・学習内容の「入れ替え」・「新しい教科」をデザイン）ができるので、これらをグランドデザインに示す必要があるとの意見をいただきました。
- 市川市教育委員会からもグランドデザイン案を提案し、学校側と相談しながらグランドデザインを作成していくことを確認しました。

(2) 後期から実施できる内容について

- 7月20日（火）に3校をオンラインでつなぎ、「夏休みの過ごし方について」のオンライン集会を実施するにあたり、当日の役割や話す内容の確認をしました。
- 後期から算数（1単元）と体育（ワンポイントアドバイス）で中学校の先生が、小学校で授業が実施できるように調整していくことになりました。

(3) 教育課程について

- 「新しい教科」を実施することについて合意を図りました。
- 「新しい教科」の内容として、「SDGs」に関する内容を取り扱うものとなりました。その前に各学校の年間指導計画をもとに、各学年で実施している取り組みを報告してもらい、新しい教科として、共通して取り組めることは何か、検討しました。

6 次回の予定

- (1) 開催予定：令和3年8月27日（金）
- (2) 協議事項
 - ① グランドデザインについて（継続）
 - ② 後期から実施できる内容について（継続）
 - ③ 教育課程について（継続）

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

東国分爽風学園 プロジェクト会議だより ⑤

- 1 日 時 令和3年8月27日（金） 9時30分～10時40分
- 2 会 場 市川市立曾谷小学校
- 3 参加者 ・オブザーバー：大学教授 ・東国分中・曾谷小・稲越小の校長・教頭・教務主任
（13名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 会議内容の概要

【前回の振り返り】

- ・今まで出た意見を参考に、教育委員会がグランドデザインの修正案を作成し、それを基に検討を進めることになりました。
- ・「新しい教科」を実施することについて合意を図り、内容としてSDGsに関連した取り組みを検討することとしました。

（1）東国分爽風学園のグランドデザインについて

○グランドデザインの修正案について、色合いの調整や幼稚園等との連携を加えることに関する意見があり、デザインの中に反映することになりました。

（2）新しい教科について

- 地域との交流の大切さを「ふるさと」で表し、また目指す子ども像にある「主体的に考え、学び、伸びる。」の実現には「探究」的な学習が重要であるため、新しい教科の名称は「ふるさと探究科」とし、併せてSDGsを意識した学習を行うこととしました。
- 探究的な学習とする理由は、学力向上につながる探究的な学習の良さを最大限に引き出すことと、小学校で身につけた自主性を中学校でさらにいかすようにするためであり、それぞれの学校の良さをいかしながら育てたい子ども像を共有できるテーマが重要という意見がありました。
- 今後は、新しい教科を軸に、各教科の内容を考えていくチームづくりを学校で行う必要があることから、各学校で新しい教科に関する会議を立ち上げ、このテーマについて話し合い、次回以降のプロジェクト会議で、内容を持ち寄って検討することになりました。

（3）2学期から実施する内容について

- 東国分中の教務主任の先生が両小学校の6年生を対象とした算数（比例・反比例）の授業を実施することになりました。（10月より順次実施予定）
- 次回はその他の教科について実施できる内容をさらに検討していくことになりました。

（4）その他について（3校で実施した取り組みについて（報告））

- 夏季休業中に国分高校の生徒たちが、曾谷小や稲越小の子供たちの勉強をサポートする取り組みが行われました。実施後のアンケートでは、両小学校の子供たちの約7割が「楽しかった」「しっかり勉強できた」と答えていました。
- 9月1日（水）に、3校の教職員をオンラインでつなぎ、塩浜学園（義務教育学校）の校長先生の講話や学校図書館研修会を実施しました。

5 次回の予定

- （1）開催予定：令和3年9月29日（水）
- （2）協議事項
 - ①グランドデザインについて（完成版の確認）
 - ②後期から実施できる内容について（継続）
 - ③教育課程について（継続）

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

● 学園教育目標

『笑顔をつなぐ 未来へつなぐ 東国分爽風学園の学び』

● 「東国分爽風学園の学び」によりめざす将来像

《めざす子ども像》

- 主体的に考え、学び、伸びる。
- 心豊かで、幅広い年代と協調できる。
- ルールやマナーを守り、基本的な生活習慣を身につける。
- 心身ともに健康。

《めざす教職員像》

- 小中一貫教育の理解と研修に務める。
- 学園全体のチームワークを大切にする。
- 保護者・地域と積極的に連携・協働する。
- 心身ともに健康。

《めざす学園像》

- 系統性・連続性を重視した小中一貫教育の良さを、児童生徒・教職員・保護者・地域住民が実感できる学園。

● 「東国分爽風学園の学び」の4つの柱

生徒指導

- 子どもの9年間の成長を見据えた教育相談の充実
- 多様性の尊重
- 各分掌を組織化した機能的な連携
- 基本的な生活習慣の確立

学校・地域 交流連携活動

- 教育の接続化
幼小中高・小小の連携、交流
- コミュニティ・スクールの推進

学力向上

- 新しい教科の設定（SDGS）
- ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境及び学習規律の統一
- 小中一貫型カリキュラムマネージメントによる学力向上
- 教科担任制、ICT活用による学びの個別最適化の実現

特別支援教育

- 個に応じた支援を行うための特別支援教育の充実
- 特別支援学級、須和田の丘支援学校等との心の交流

9年間でつなぐ小中一貫教育を実践！

資料3：国分高校の生徒による学習支援に関するアンケート結果

まなびくらぶアンケート集計表（曾谷小学校）

1. 楽しかったですか。

学年	回答	楽しかった	まあまあ	どちらでもない	あまり	楽しくない
1年		15	4	3	0	0
2年		21	4	0	0	1
3年		19	7	2	0	0
4年		22	6	1	0	0
5年		14	9	1	0	0
6年		7	3	2	0	0
合計		98	33	9	0	1

2. しっかり勉強できましたか。

学年	回答	できた	まあまあ	どちらでもない	あまり	できない
1年		13	9	0	0	0
2年		19	5	1	1	0
3年		19	9	0	0	0
4年		23	5	1	0	0
5年		17	7	0	0	0
6年		6	6	0	0	0
合計		101	42	2	1	0

3. 来年も入りたいですか。

学年	回答	入りたい	わからない	入らない
1年		15	7	0
2年		21	4	1
3年		13	13	2
4年		20	9	0
5年		9	15	0
6年		3	8	1
合計		81	56	4

4. その他

【1年】

- ・勉強が進んで良かった。また行きたい。教えてもらって嬉しかった。
- ・高校生のお姉さんに勉強を教えてもらって、勉強がよく分かった
- ・楽しく勉強ができた。

【2年】

- ・この一週間で、いっぱい勉強ができました。来年も曾谷っ子教室に入って勉強したいです。
- ・高校生が来てくれてよかった。曾谷っ子教室で勉強すると、楽しい。

【3年】

- ・算数の余りのある割り算を教えてもらって、分かるようになった。
- ・最後の日に楽しいことがあるなら、来年も入りたい。
- ・集中して勉強できてきて、安心できて大好きなところです。毎年、曾谷っ子教室に入っているの、来年も入りたいです。

【4年】

- ・夏休みやコロナ感染症の状況で、友だちと遊んだり、会ったりする機会があまり無いから、曾谷っ子教室で友だちと会えてうれしかったし、楽しかった。
- ・学校の方が集中する。宿題が結構進んだので良かった。
- ・優しい6年生や高校生が勉強を教えてくれて嬉しかった。

【5年】

- ・静かで、涼しかったので勉強に集中できました。自由遊びがあったので良かった。分からないところは、教えてもらったので分かるようになりました。
- ・たくさん勉強ができて良かった。学校でやるほうが集中できた。
- ・予定通りに課題ができた。

【6年】

- ・すごくやる気が出て、勉強が進んだ。充実した一週間で楽しかった。
- ・自由遊びがあることがモチベーションになって集中できて良かった。
- ・家で分からない事も、先生と一緒に出来て楽しかったです。高校生にも教えてもらったので、嬉しかったです。

【教職員】

- ・子供たちが頑張っていた。普段と違う子供たちの姿は新鮮で、とても可愛かった、教職員だけでは手が回らないので、高校生の存在は、大変ありがたかった。
- ・異学年(1～6年)が1教室にいるから静かに行えた。教室が低学年ではないほうが良いのでは？(高学年には机が小さい)
- ・高校生がありがたかった。コロナが落ち着いたら例年通り地域の方のサポートがあると嬉しい。クラスの宿題をさぼりがちな子が参加していて、欠席せずに行えていたのでありがたかった。
- ・人数がこれ以上(170人)増えると、さばききれなくて大変かと思うので、やはり地域の方のお手伝いは必要。高校生のお手伝いは助かった。

- ・担任の負担が大きいので、次年度以降も同じようにやるなら体制を考えていく必要がある。
- ・1～3年と4～6年に分けて、高学年を理科室・家庭科室にすれば良いのではないか。最終日のお楽しみは、良かった。(低学年：スライムづくり、高学年：ドッジボール大会)
- 【高校生】参加者全員が来年も入りたいに○をしていました。
- ・みんなすごく勉強熱心でまじめに取り組んでいた。私から話しかけるよりもみんなから話しかけてもらったのでとてもうれしかったです。スライム作りもみんな夢中になってやっていて、だんだんスライムになっていくにつれて、みんなが「スライムになってきた・すごい固まってきた」などと笑顔で話しかけてくれてとても嬉しかったです、とても癒されました。そとで遊ぶことができなかつたのですが、とても楽しかったです。また来年もあつたら来たいです。
- ・1コマ目の授業の時に、4年生の女の子たちに教えたりたくさん話したりすることができました。スライム作りでは、低学年の子たちがとても楽しそうに作ってくれていたので、嬉しかった。今日は本当にありがとうございました。来年度も参加したいです。
- ・勉強を教えることはできても、それを理解してもらうことが難しいと感じました。途中で違う話をされたり、どう説明したらわかりやすいのか、教師という職業に就くにはたくさんの努力が必要なんだと思い、先生方を改めて尊敬しました。今回のボランティアは、子供たちにとつても癒されましたし、とても楽しかったです。来年、また参加できる機会がありましたら、参加したいと思つます。ありがとうございました。
- ・小学生に勉強を教えるという体験をさせてもらつても楽し方です。人に教えたつりするような職業にも興味を持っていたので、この体験を通して、将来についてもう一度考える良い機会になりました。また自分自身子供と触れ合うことで、とても癒されました。短い間でしたがありがとうございました。
- ・小学生がみんなとても可愛らしくて元気をもらつました。お話ししたりして一緒に遊ぶこともできて、とても楽しい時間を過ごすことができました。わからないことを聞いてくれる子もいて、教えがいがありました。小学校の楽しくあつたかい雰囲気を出つすることができました。可愛らしい小学生のみんなに心が癒されました。短時間でしたが、沢山の元気をもらつました。ありがとうございました。また参加したいです。
- ・基本を教えるのが本当に難しかったです。とくに1、2年生の勉強はどう教えたら良いのか分かりませんでした。小学校の線背は、本当にすごいなとも思つました。小学生って年の差がすごいから接し方の工夫も必要なんだなとも思つました。自分が小学校の頃の自分に戻つた気分でした。
- ・教えた時に、真剣に聞いてくれて嬉しかった。終わった後に話しかけてくれたり目が合つた時に笑つてくれて嬉しかった。充実できたからまた来年も参加したい。
- ・たくさん話しかけてもらつてとても楽しかったです。しっかり集中して終わった後には笑顔で話してくれて、たくさんの子が最後にハイタッチしてくれて嬉しかったです。
- ・少しの間でしたが、友達同士で教えあつている子、姿勢の良い子、ひたすらに問題を解く子、皆それぞれ自分なりの勉強ができていて驚きました。休み時間と勉強時間の切り替えが私たち以上に出来ていたので、私も学校でしっかり切り替えられるようにしたいです。ありがとうございました。
- ・充実した時間を過ごせました。
- ・教える学年によって説明の仕方を考えるのが難しいと感じた。わからないところを説明して理解してもらえた時はすごく嬉しかった。みんなが声をかけてくれたりお話ししてくれて嬉しかった。
- ・小学校の子たちと勉強したり遊んだりする機会があまりないかつたので楽しかったです。教える時もどうやたらうまく伝えられるかなど自分自身の勉強にもなりました。たくさん話しかけてく

れる子もいてとても良い体験ができました。

- とても楽しかった。子供たちに教えることがとても楽しかった。自ら声をかけに行けたので良かった。

R3 稲越小学校寺子屋教室 アンケート集計

1、楽しかったですか。（楽しく行えましたか。）

	楽しかった	まあまあ	どちらでもな	あまり	楽しくない	合計
1年	10	3		2	1	16
2年	11	6			1	18
3年	20	4	4		1	29
4年	15	5				20
6年	21	5	2			28
教職員			4		1	5
地域	11	1				12
高校生	4	1				5
合計	92	25	10	2	4	133
割合	69%	19%	8%	2%	3%	

2、しっかり勉強できましたか。（しっかり教えられましたか。）

	できた	まあまあ	どちらでもな	あまり	できない	合計
1年	13	3				16
2年	11	6		1		18
3年	20	8	1			29
4年	17	3				20
6年	19	6	2	1		28
教職員		2	3			5
地域	6	4	2			12
高校生	2	2	1			5
合計	88	34	9	2	0	133
割合	66%	26%	7%	2%	0%	

3、来年も入りたいですか。（参加したいですか。）

	入りたい	わからない	入らない	合計
1年	7	6	3	16
2年	10	8	0	18
3年	15	11	2	28
4年	14	6	0	20
6年	14	13	2	29
教職員		2		2
地域	12			12
高校生	5			5
合計	77	46	7	130
割合	59%	35%	5%	

自由記述

1年

いっぱい勉強ができてうれしかったな。

2年

宿題がはやく終わってうれしかった。夏休みのドリルが進んでうれしい。

勉強が好きになった。

コロナでも寺子屋教室をやって楽しかったし、もっとやりたかった。

やさしく教えてくれた。

みんなと一緒に勉強できて楽しかった。

3年

友達と会えてうれしかった。

やさしく教えてくれて楽しかった。

宿題が思いのほか早く終わった。家より集中できて楽しかった。

家よりたくさん宿題ができた。家だとやる気がないけど、寺子屋はやる気がまあまあ出る。

わかりやすく説明してくれたから勉強がやりやすかった。

行けば行くほど勉強が好きになっていったのでよかった。

はじめは行きたくなかったけど、楽しかったからまた行きたい。

楽しいし、ちゃんと勉強できるから来年も入りたい。

わからないところがわかった。教えてもらって少し楽にできた。

地獄だった。

4年

宿題が進んだ。

友達に会える

家より楽しいし、集中できる。時間が短い気がした。

わからないところや、直しができた。たくさん教えてもらった。

気軽に聞ける。

5年（アンケート未実施）

6年

集中してできて楽しかった。時間がはやく感じた。

楽しかったし、わからないところは教えてもらえるからまた入りたい。

教職員

地域の方、高校生が来てくれて助かりました。

学習意欲のない児童が参加していて、何もせずに座っているだけの児童がいた。声をかけてもダメで空しくお思った。

地域・高校生の方

最初のほうは、コミュニケーションが取れなかったが、時間がたつにつれてコミュニケーションが取れてよかったです。

参加している子どもたちは、やる気があり、意欲的に取り組んでいました。「めんどうくさい」なんて声も聴かれましたが、来たら一生懸命でした。

高学年は、別の意味で楽しくできました。この学校の子どもたちは、どんどん（こちら側から）入って行っても受け入れてくれるので、やりやすかった。

（前年まで、）1・2年生を担当していたので、正直私自身がわからないことが多くて戸惑いました。間違っただけで教えられないと思いました。5年生の教室では「答え」を渡していただいたので、助かりました。教えることの難しさを感じました。（3・5年生を担当していただいた方から）

今回は、勉強内容が、子ども各自のテキストだったので、こちら側の頭の切り替えが難しかった気がします。子どもたちと楽しむことができ、私も楽しい時間が過ごせました。ありがとうございました。

（注：昨年度までは、学校でプリントを用意していた。本年度は、教材は児童が持参した。）

子どもとかかわりがあるのが楽しいです。子どもも大人・学生とふれあいができるのでよいと思います。孫と同学年の子どもたちがとても元気で、すくすくと育ってほしいと思いました。

1時間だと、あっという間に時間が過ぎてしまい、中途半端で終わってしまうのが残念でした。

後半も夏休み終了10日前くらいまでに開催はいかがでしょうか。

子ども自身、できる子とできない子の格差が1年生の段階である。あまりできない子こを伸ばしていくのが大変だと思いました。先生の苦勞の大変さがうかがえる。

初めてボランティア活動に参加したけど、小学生はかわいかったし、楽しかったです。

自分の頭では理解できていても、相手に伝えるというのが難しいのだと改めて実感しました。1時間があっという間でした。

ただ教えるだけじゃなく、ヒントをあげて自分で解けるようにするのが難しかった。